

令和1年度 NPO 法人近江湖西会 事業報告

令和1年度は、昨年度に引き続き、定款の原点に立ち返り、法人運営のあり方を見つめ直した1年であった。

法人創立当初から、働く場と共に、(精神障がい者)「支援センター」の設置運営が掲げられていたことを総会でも再確認、折から、多額の寄付(100万円)をその目的のために頂いたことや、新旭駅西ショッピングセンター協同組合(エスパ)の一面を借用する話が持ち上がったことで年度後半から構想が現実味を帯びてきた。

家族会としても、(通常使用していた東コミセンが工事に入ったこともあり)7月以降はエスパの会議室を会場としてお借りし、毎月定例会を開催、支援センター(地域活動支援センターI型)について少しずつ勉強しながら制度の具体的内容や必要性を確認。10月には障がい福祉課課長とも懇談の場を持ち、年度後半に向けて先進地研修や学習会を企画した(新型コロナウイルスの蔓延により延期。待機期間に、支援センターの具体的な構想、実現可能な事業展開を練ることとなった)。

すみれは、精神障がい者の就労継続支援B型事業所として、朝・昼・夕の送迎により、体調に合わせ「午前のみ」、「午後のみ」の通所が可能なことや、静かな作業環境、治具の工夫など、特色を出し、楽しい行事も取り入れて地道に努力してきたが、今年度は通所者が就労などで退所したり、職員が介護の事業で出勤を調整するなど、作業能力が一部低下した結果、下請け作業の維持に苦しみ、職員がやむなく材料を自宅に持ち帰って作業し(業務委託扱い)納期に間に合わせることも増え、試練の一年となった。

ただ、そのような中でも、新型コロナウイルスの世界的な蔓延のなかで、感染者が出ず、休所や自宅待機などの事態を避けられたことは大きな幸이었다。

平成31年度(令和1年度) NPO法人近江湖西会 家族会 事業報告

1.事業の効果(総括)

今年度は、昨年来定例会で意見交換してきた「高島市の精神障がい者が安心して住めるために必要な社会資源」について、方向性を2つにまとめることができた。安定した地域生活の拠点として、①当法人設立の精神に則り、定款にも謳われている精神障がい者の支援センター(現在の地域活動支援センターI型)、②宿泊型の生活訓練施設である。幸い、篤志家からの多額の寄付をいただき、活動拠点として新旭駅前のエスパ(専門店街)の一面の借用できままでにこぎつけた。しかし、契約までの交渉等に年末ぎりぎりまで要し、設備不足でサロンの開催については見送ることとした。また、3月に繰り延べて予定していた先進地研修・県内家族会訪問、講演会は、新型コロナウイルスのため、やむなく自粛・次年度以降に延期となった。

2.事業報告

◇家族会開催

開催日	事業名	参加者数	内容
(定例会: 原則 月1回、臨時会議: 行事準備時期、その他必要時)			
4月9日	第1回家族会	10名	東コミセン。1年の計画、日常の様子への報告・意見交換。
5月14日	第2回家族会	9名	東コミセン。藤美まつり参加(バザー)の打ち合わせ。
6月20日	第3回家族会	10名	東コミセン。藤美まつりの報告。今後の方向について。
7月23日	第4回家族会	8名	エスパの会議室。事業計画・市補助金事業確認。
8月27日	第5回家族会	9名	エスパの会議室。市内に必要な社会資源について。
9月24日	第6回家族会	5名	市の福祉計画、県内の地活I型の整備状況の学習。
10月9日	第7回家族会	9名	市の福祉課長と面談。地活I型の整備の要望など。
11月19日	第8回家族会	10名	エスパの会議室。サロン開催の検討、意見交換。
12月20日	第9回家族会	5名	ココスにて。1年の振り返り、サロンに代えて家族の食事会。
1月28日	第10回家族会	8名	エスパの借用部屋で初会合。実施事業の意見交換。
2月18日	第11回家族会	5名	同上(事務室で)未実施事業の実施を再検討。
3月	第12回家族会		新型コロナウイルスの影響で会合・行事の中止を決定。

※家族会開催日は前月の開催時に、全員の都合を開き決定する。

◇年間行事

開催日	事業名	参加者数	内容
H31.6.1	藤美まつり参加	5名	地域の福祉拠点施設で福祉団体が集う恒例行事に参加、出店。活動の周知を図り、地域との交流を深める。
12月20日	家族食事会	5名	県内先進地の「地域活動支援センター」に参加。親睦、交流を深め、家族会運営を学ぶ。
10月9日	市福祉課長と面談	9名	NPOの定款・市の福祉計画に沿った「地域活動支援センターI型」の整備について課長に要望。意見交換。
3月4日 予定	先進地研修2か所、講演会	新型コロナウイルスのため延期	①精神障害者地域生活支援センター風、②生活訓練(自立訓練)施設「樹」、③草津家族会「ひまわりの会」小山氏 講話
2月29/3月7日 訪問予定	県内家族会訪問	新型コロナウイルスのため延期	当事者、家族、ボランティアが集い、食事会、カラオケやゲームを通し、親睦・交流を深める。

令和元年度 すみれ事業報告

1. 事業の目的と運用

障害者自立支援法に基づき、例年どおり一般企業での就労が困難な利用者に対して、働く場を提供するとともに、知識、能力の向上に必要な支援、訓練を行った。

育休明けの正職員が年度途中で家族の介護を余儀なくされ、介護休業と雇用形態の変更(パートへ)をせざるを得なくなった。他職員でカバーリングしながら事業を遂行した。

2. 事業の概要

①福祉事業活動

事業計画で掲げた利用者の増員については、新規入所契約2名・退所4名と利用者の減と
なっており、年度末の契約者数12名、実利用者11名という形で締めくくることができた。

実習生は結果、3名の受入れを行い、そのうち1名が利用契約に結びつけることができた。

通所率については41%で終えた。(前年度49%)ハードルは高い。

今年度も職員の研修については、日々の職業指導に追われ、内部研修の機会さえ設けることができず、
反省している。

②就労支援活動

請負元から多種の作業受注をいただき、予算(314万円)を上回る収入を得ることが出来たが、
利用者減での対応のため、職員が持ち帰って納期に間に合わせるという負担を負うことになった。(外部委託費の
増。)

今年度も利用者の作業の幅を拓けられるように作業の治具化をスタッフが推進してくれた。継続して利用者の
適正を見極め指導していきたい。

③その他

トイレ用の水はいったん屋上の貯水タンクに溜めて使用する方式であったが、配管が外出しであり、
なおかつ配管が老朽化及び冬季の凍結等、不便が多かったため、家主である高島織物工業協同組合
のご協力のもと、直接配管工事を行うことができ、不便が解消された。

就労継続支援B型事業(定員20名)

1. 運営の実績

(1) 施設の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
開所日数	20	20	20	22	17	19	22	20	20	19	19	21	239日
実利用者数	12	12	13	14	13	11	11	11	10	10	10	10	11.4人
延利用者数	172	173	190	223	153	154	182	154	143	132	129	151	1,956人日
平均利用者数	8.6	8.7	9.5	10.2	9.0	8.2	8.3	7.7	7.2	7.0	6.8	7.2	8.2人/日
利用率	43.0%	43.5%	47.5%	51.0%	45.0%	41.0%	41.5%	38.5%	36.0%	35.0%	34.0%	36.0%	41.0%

(2) 利用者支援の実績

① 支払工賃について

・工賃総額 888,346円 (30年度工賃総額 1,789,231円)

・月一人当たり平均工賃 6,532円 (30年度平均工賃 10,166円)

② 例年どおり毎日の作業内容と利用者の作業への適正や体調により、作業の担当を変えることで全員が気持ち良く作業できるように支援した。

③ 関連機関・事業所との連携を図り、利用者さんが地域での生活がよりし易くなるよう支援した。

(3) 実習生の受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受け入れ人員	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4

2. 職員数

職 種	所 長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	事務員	合計
職員数(人)	1(兼務)		1	2	0	4

3. 施設の行事

- ・元年6月 宝牧場ドライブ(朽木) ・2年2月 宝牧場ドライブ(朽木)
- ・2年1月 若狭フィッシャーマンズワーフ
- ・2年1月 スーパープラント見学(安曇川町)

4. 非常災害対策

消防計画に基づき避難訓練を実施した。

活 動 計 算 書

【税込】(単位：円)

NPO法人 近江湖西会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

【経常収益】			
【事業収益】			
自立支援給付費収益	12,358,197		
就労支援事業収益	3,488,097		
受取寄附金	1,000,000		
受取補助金	21,085		
【その他収益】			
受取利息	21		
雑収益	421,409	421,430	
経常収益計			17,288,809
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	8,069,259		
法定福利費(事業)	1,191,159		
福利厚生費(事業)	136,722		
人件費計	9,397,140		
(その他経費)			
就労支援事業費用	3,523,403		
業務委託費	75,000		
給食費	598,409		
車両費(事業)	968,172		
通信運搬費(事業)	64,127		
消耗品費(事業)	170,895		
修繕費(事業)	266,003		
水道光熱費(事業)	396,695		
地代家賃(事業)	765,000		
賃借料(事業)	617,376		
減価償却費(事業)	104,477		
保険料(事業)	347,960		
諸会費(事業)	24,000		
租税公課(事業)	7,700		
研修費(事業)	3,000		
支払手数料(事業)	13,308		
雑費(事業)	9,743		
その他経費計	7,955,268		
事業費計		17,352,408	
経常費用計			17,352,408
当期経常増減額			△ 63,599
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 63,599
当期正味財産増減額			△ 63,599
前期繰越正味財産額			6,035,136
次期繰越正味財産額			5,971,537

貸借対照表

NPO法人 近江湖西会
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和 2年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	92,851		
普通預金	2,271,359		
現金・預金計	2,364,210		
(売上債権)			
未収金	2,890,812		
売上債権計	2,890,812		
(棚卸資産)			
貯蔵品	5,154		
棚卸資産計	5,154		
流動資産合計		5,260,176	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	792,852		
車両運搬具	2		
什器備品	281,436		
有形固定資産計	1,074,290		
固定資産合計		1,074,290	
資産合計			6,334,466
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	248,445		
預り金	114,484		
流動負債合計		362,929	
負債合計			362,929
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		6,035,136	
当期正味財産増減額		△ 63,599	
正味財産合計		5,971,537	
負債及び正味財産合計			6,334,466

財 産 目 録

NPO法人 近江湖西会
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和 2年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	92,851
就 労	(92,851)
普通 預金	2,271,359
滋賀銀行	(916,933)
滋賀銀行	(1,126,045)
滋賀銀行	(228,381)
現金・預金 計	<u>2,364,210</u>

(売上債権)

未 収 金	2,890,812
売上債権 計	<u>2,890,812</u>

(棚卸資産)

貯 蔵 品	5,154
棚卸資産 計	<u>5,154</u>

流動資産合計

5,260,176

【固定資産】

(有形固定資産)

建 物	792,852
車両運搬具	2
什器 備品	281,436
有形固定資産 計	<u>1,074,290</u>

固定資産合計

1,074,290

資産合計

6,334,466

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	248,445
預 り 金	114,484
社会保険料	(92,044)
源泉所得税	(22,440)
流動負債合計	<u>362,929</u>

負債合計

362,929

362,929

正味財産

5,971,537